

5. 魅力ある夜間景観形成の目標

(1) 夜間景観形成の基本理念

- ・福井の個性や地域特性に適し、夜間においても福井らしさが感じられ、夜間においてより魅力が増すような景観を目指すため、以下の3つを基本理念として掲げます。

基本理念① 福井の風土にあった光の環境を整えます

- ・色とりどりの光や眩しい光により煌々と照らされた夜間景観ではなく、美しい自然に歴史・文化が溶け込んでいる、日本の原風景が感じられる“福井らしい景観”に調和した夜間景観を形成するため、明るさを抑えた、眩しさのない光の環境を整えます。
- ・夏季は高温多湿、冬季は降雪と曇天が続く福井特有の気候に対して、光が与える印象・効果（涼しさや暖かさ）を活用し、季節に応じた光の使い分けなどの工夫を凝らします。

基本理念② 地域や景観資源の特性に応じた光を使用します

- ・自然環境や歴史性、都市的華やかさ、シンボル性など、地域や景観資源の特性などに応じて適切な光源を使用し、公共空間と私的空間、さらにはセミパブリック空間が一体となって、良好な夜間景観の形成を目指します。
- ・福井における都市構造や景観の骨格を形成するような通り・空間においては、街路灯などによる光の統一を図り、軸としての連続性やシンボル性を高めます。
- ・優れた形態・意匠を有する建築物や構造物、多くの人が集まり華やぐような場所においては、演色性の高い光源を使用し、対象となるモノや空間が有している本来の“美しさ”を夜間においても演出します。

基本理念③ 「明」と「暗」、「光」と「陰影」を効果的に使い分けます

- ・足羽三山や東山、国見岳などからの夜間の眺望に対して『明の空間』を際立たせ、福井の地形や都市構造を浮かび上がらせるため、田園や山間部等では不必要な光を抑制します。
- ・夜間景観の整備・演出が特に重要な福井都心地区にあっても、行く先の期待感などを演出するため、“暗い部分（暗さの中にある温かみ、灰暗さ）”を上手く活用します。
- ・建築物や構造物などに対してライトアップ等を行う際には、それらの形態・意匠を的確に把握し、投光によってできる「陰影」にも配慮して光源を設置します。

(2) 夜間景観形成の目標

- ・魅力ある夜間景観の形成を市民、事業者、行政の協働により推進し、全国に向けてPRしていくため、目指すべき目標（夜間景観像）を次のように定めます。

やさしい光が織りなすまち ぶくい!

夜間の賑わいを創出しつつ、何度も訪れたいと思えるようなやさしい光が織りなす魅力ある夜間景観、また、市民が誇りをもち、光によって福井らしさが感じられるような美しい夜間景観の形成を目指します。